

7月12日（水）から14日（金）に、総務建設委員会が埼玉県三郷市、神奈川県秦野市、神奈川県横浜市へ、また、福祉文教委員会は7月26日（水）から28日（金）に茨城県古河市、東京都（日野市）、千葉県佐倉市を訪問しました。それぞれ特色のある取り組みでした。簡単に高浜市でできることばかりではないですが、私たちも、議員として非常に勉強になりました。視察した様子など、写真を中心に紹介します。

総務建設委員会



▲(埼玉県三郷市) 少年消防クラブや女性消防団などを始め、自主防災組織の設立と支援に取り組み、共助意識の醸成に努めているとのことでした。



▲(神奈川県秦野市) 公共施設再配置推進事業について、高浜市と秦野市を比較していただき、改めて、公共施設の現状維持は不可能との認識を新たにしました。



▲(神奈川県横浜市) 災害時の自助・共助・公助の推進に係る条例を設け、意識の裾野を広げる取り組みのあり方に、近道なしと感じました。

福祉文教委員会



▲(茨城県古河市) タブレット端末等ICT教育は、子どもにも教師にも大いに有用。授業の補完ツールとしての未来を感じました。



▲(東京都日野市) 東京都の施設を訪問。若年性認知症そのものの理解と、進むべき方向性について、示唆に富んだ内容でした。



▲(千葉県佐倉市) 小学校プールの民間委託について、既に実施していることでの利点と課題について、実例をお聞きしました